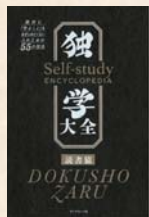


今月のおすすめ図書

◆一般図書

独学大全



読書猿／著 ダイヤモンド社

著者が独自に収集・開発した勉強法の百科事典。学び方に迷った時に役立つ1冊です。

シャーロック・ホームズの建築



北原 尚彦／文 エクスナレッジ

ベイカー街221Bやバスカヴィル館など、「シャーロック・ホームズ」に登場する建物を図版・図面入りで考察した本です。ホームズが暮らした時代を建築で楽しめます。

♥児童図書

子どもが作れるプレゼント菓子



柴田書店／編 柴田書店

プレゼントにぴったりなお菓子の作り方が子どもにわかりやすい言葉で書かれています。

やさいのおなか



きうちかつ／さく・え 福音館書店

「これなあに？」と、いろいろなやさいのおなか(断面)を楽しむ絵本です。野菜のおなかはふしぎな形がたくさん！子どもはもちろん、大人も楽しめる一冊です。

ぶらり らいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎22-2612 FAX22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 月曜日、29日(月末資料整理)

食と農を繋げるビジネス情報セミナー

食と農の分野で新しい価値を創造することを目的にしたセミナーを開催します。

最新の業界情報や先進的な取り組み、有用な情報源や資料の活用法をご紹介します。

どなたでもお気軽にご参加ください。

▶と き 2月11日(日・祝) 午後1時～3時40分

▶ところ 米子市立図書館2階 多目的研修室

▶プログラム

◇未来の農業そして食ビジネス最前線 2024

～鳥取県人が知っておきたい農業・食ビジネスチャンスの読み解き方～

講師：菊池 健司さん

((株)日本能率協会総合研究所 MDB 事業本部エグゼクティブフェロー)



菊池講師

◇ローカル酵母で新たな地域価値の創造を目指す

講師：児玉 基一郎さん

(鳥取大学農学部教授)



児玉講師

◇パネルディスカッション

パネリスト：児玉 基一郎さん ほか

▶定員 80人(要申込・参加無料)

▶申込先 米子市立図書館

今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会)

毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

17日(土) 午前10時30分

▽夕方おはなし会(職員)

13日(火) 午後4時

「各種講座」

▽つつじ読書会『素晴らしき世界も一度旅へ』吉田修一著(集英社)

(初めてのの方☆)

3日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めてのの方☆)

4日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)

13日(火) 午後3時、14日(水) 午前10時30分(1日(木)受付開始)

(3月の予約は3月1日(金)受付開始)

▽古文書研究会「多比能實知久佐」ほか

24日(土) 午後1時30分

▽「2階ギャラリー」

小さな透明水彩画展

～warm in your heart～

1日(木)～21日(水)

▽第4回彼岸花の里俳句・フォト俳句コンテスト作品展

3日(土)～11日(日)

▽絵本『千鳥のうた』イラスト原画展

示(田中千鳥没後百年記念)

13日(火)～3月3日(日)



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文・写真／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

2020年2月9日の朝、園内の枯れ木の枝に、園内初記録のヒレンジャクが群れています。ヒレンジャクは全長が約18センチで、太めの体形と尾羽の先が赤いことが特徴です。冬から翌春にかけて、民家の庭木や街路樹に群れて実を食べる様子を時々見かけます。

今回ヒレンジャクが園内に現れたのは、クロガネモチの赤い実を食べることが目的でした。枯れ木にとまってじっとしているかと思うと、突然飛び立ってクロガネモチに群がり、ものすごい勢いで実を食べ漁っては再

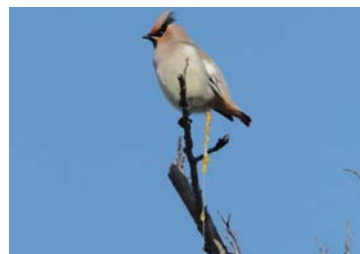
大人気のヒレンジャク

び枯れ木に戻る、という行動を繰り返していました。その様子をブログで紹介したところ、ヒレンジャクの写真を撮りにたくさんのお客様が集まりました。珍しい鳥ではないのですが、予想以上の反響に驚きました。

ヒレンジャクはヤドリギの実を好んで食べるので、ヤドリギの粘着質の種子が混じった糞をお尻からぶら下げていることがあります。ヤドリギが鳥に果実を提供する代わりに、種子を遠くに運んでもらうという、樹木と鳥との関わりを実感できる風景です。



クロガネモチに群れるヒレンジャク



ヤドリギの種子が混じった糞をぶら下げているヒレンジャク

美術館通信

コレクション企画展Ⅳ 日本画・書・工芸／彫刻編

自然のすがた／作品は語る

コレクション企画展Ⅳでは第2展示室で日本画・書・工芸編「自然のすがた」、第1展示室で彫刻編「作品は語る」を開催します。日本画・書・工芸編では、自然をテーマに展示します。

日本画では藤田台石、金沢虹坡らが山紫水明の景を、書では廣瀬旭荘らが閑居の穏やかな様を表し、また工芸の河井寛次郎は独自の自然観を内包した創作活動を行ってきました。自然が芸術においてどのように表現されてきたかを紹介します。

彫刻編では、郷土作家の具象作品を中心に展示します。戸田海笛をはじめ、米谷精一、辻晉堂、中ハシクシゲ、そして「米子彫刻シンポジウム」で制作された野外彫刻が並ぶ彫刻ロード。鳥取県西部は近現代彫刻と関わりのある土地柄です。脈々と受け継がれる郷土の彫刻の歴史をたどり、作品が語るストーリーとあわせて紹介します。

▶会期 2月23日(金・祝)～3月24日(日) [水曜休館、3月20日は開館]

▶観覧料 一般 330円 団体 270円

☎ 米子市美術館 (☎ 34-2424)



藤田台石《南天に鴨図》
制作年不詳 紙本・着彩